

2021-12-15

特別支援教育の理念を取り入れた授業づくり 「合理的配慮」や「学びのユニバーサルデザイン」の視点を中心に

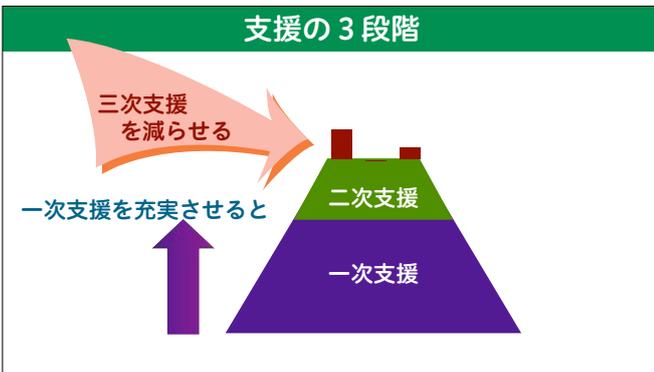
武蔵高等学校中学校教諭
草間浩一 PhD



1



2



3



4

合理的配慮の基本

- 学習者本人の努力ではいかんともしがたい部分に足場掛けをして、学習の公平性を保つ
- 「甘い対応」をするのではない
- ゴールは同じ
- ゴールに到達する方法が違う

5

配慮

世間はマジョリティー用の配慮に満ちている

**右利きが
マジョリティー
≒ 90%**

『アレンシンドローム 光に敏感なために生きづらい子どもたち』
熊谷恵子 (2018) 幻冬舎

6

色のユニバーサル・デザイン

- フォントや図形などの色にも注意
- 色覚異常がある生徒への配慮
- 先天性色覚異常は、不変的なものであり本邦では男性の約5%（20人に1人）女性の約0.2%（500人に1人）の割合で見られる。
「色覚異常について」p.1（神奈川県医師会，2018）



7

読みやすさは個人差が大きい

- 自分が読みやすい書式が万人に読みやすいわけではない
- 少なくともUDフォントを利用したい
- PowerPointのスライドで背景色を利用する
- PDFにする前提なら、Wordでも背景色が付けられる（オプションの設定が必要）

8

公平な選抜のイラスト



9

覚えるのがしんどい子ども

- 覚えるのが苦手やしんどい
- ワークシートに手が付けられない
- 小テストで点数が取れない



10

生徒が選択する

誰が使ってもかまわない

ヒントカード
使います！



11